



☀ センスオブアースイベントリポート

野草を調べて
天ぷらにして
食べて遊ぼう in 彩湖

日時：6月11日（土） 午前10:00～午後2:00
場所：道満グリーンパーク+彩湖自然学習センター
講師：比留間直道氏（前彩湖自然学習センター指導員）
参加：10人

タンポポの花はねえ、 “ひなた”の味がするんだよ

タンポポの花を食べたことはありますか？
じゃあ、シロツメクサの花は？
身近な野草や野の花で食べられるものはたくさんある、ということは何となく知ってはいたのですが、まさかこんなものまで口にできるとは知らなかったのです。それだけに興味津々、みんな目を輝かせての「野草天ぷら試食会」となりました。



「トダスゲ」は食べちゃいけないだろぉ…

前日の空模様から雨を心配したこの日、案の定降ったりやんだりする中を道満グリーンパークのフィールドへいざ出発。自然観察会とはいえ、この日は「食べる」という目的があったので、「これおいしそうだね」とか「この葉っぱの匂いからすると、きびしいかなぁ…」と、観察する視点がどうしても「食べられるのか？ 食べられないのか？」という方向に向いてしまうのでした。まあ、たまにはこういう観察会もいいでしょう。

比留間先生に導かれて彩湖のピオトープ的なエリアへ。20m×7mほどの池の周りには、絶滅危惧種をふくめた貴重な草花が、肩を寄せ合って群生しているのです。

コバンソウ、カズノコグサ、マコモ、タコノアシ、サクラソウ…

その中でも比留間先生が一段と声高に説明をしてくれた植物がありました。

「これがトダスゲです…」

トダスゲは大正5年に「戸田ヶ原」で牧野富太郎博士が発見、命名した植物で、最近まで戸田市では絶滅したものと思われていた希少植物。派手さはありませんが、3本に分かれた穂先が風に吹かれて揺れると、なんとも愛嬌のある植物です。

「これは食べられないよなぁ」

「いやいやいや、トダスゲは食べちゃいかんだろう、まずそうだし…」

と、まずそうとか、うまそうとかの次元ではなく、不謹慎な観察者たちなのでした。



次ページへ続く ➤

発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

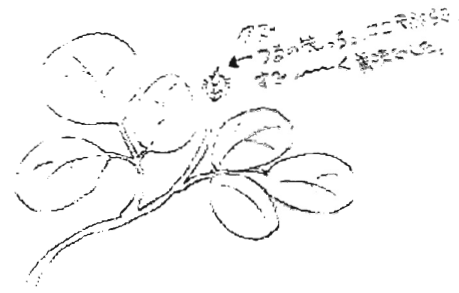
東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6053
e-mail: info@npo-soe.jp url: www.npo-soe.jp

何が食べられるんですかあ？

一通りの観察が終わると、この日の主題である「食べられる」ものを探す作業に専念しはじめました。6月となるとかなり育ちきった草花が多く、本当は4月～5月頃のやわらかな新芽がいいようです。

ヤブヘビイチゴの赤い実をかじってみました。「あんまり味がしないね。見かけは派手だけど…」

赤ツメグサの花を2～3本ナマでかじってみると、ちょっと青臭さのつよい万能ネギのような味がします。



比留間先生に教えてもらいながら野を駆け巡り、この日採集した「食材」は次の通り。

- 西洋タンポポ (花の部分)
- 白ツメグサ (花)
- 赤ツメグサ (花)
- ヒメジオン (花)
- クズの芽
- セリ
- ヤマクワ (葉)
- ヨモギ

「ええ～！ 白ツメグサなんて、首飾りか冠に編んだのしかみたことないぞう！」

そうなんです、セリ、ヨモギあたりまでは分かるのですが、その他は全く未知の世界。せいぜい「ヤマクワ」あたりが「カイコも食べてるんだから…」と、無理やり自分に言い聞かせる程度でした。

「先生、本当に大丈夫ですよね…」

【一般的に食べられるその他の野草】
 ふきのとう、つくし、ノビル、山ウド、
 たららの芽、ナズナ、ハコベ、カキド
 オシ、サンショウ、ニワトコ、オオ
 バコ、コゴミ、ヤブレガサ、三つ葉、
 たけのこ、アザミ、ギボウシ、フキ、
 草ボケ、アマドコロ、くちなし、ハ
 マナス、ドクダミ、ユキノシタ、ア
 シタバ、ツククサ、ピワ、ベニバナ、
 アカザ、ハハコグサ など

さてさて、お味は？

本日の調理法は「天ぷら」。野草の素朴な味わいを殺さないためには、薄めのコロモでサッと揚げたい。食材が天ぷらなべの中に次々と放り込まれていく周りでは、好奇心プラス不安の入り混じった視線がなべの中に注がれています。

「はい、白ツメよーし。はい、タンポポよーし。」

調味料はあっさり塩で。恐る恐るタンポポを口の放り込んでみました。

「ウーん…。これは日向ぼつこの味だな」

かすかな苦味の中にも“太陽”の薫りが仄かに立ち昇って鼻孔をくすぐるような…。そんな味覚を感じるのでした。そして次々と体験する「未知なる味」の競演。

どれをとっても「草原」をワイルドにほおぼるような食感。ただひとつ、ヒメジオンの素揚げだけは見た目にも油をたっぷり吸い込んだように映って、誰も手をつけませんでした。

一通り「草原の味」を堪能して最後の感想会。

「何が一番おいしかった？」と、この日参加者したメンバー中ただひとりの小学生、松本君に感想を求めると、

「んーとねえ、ウィンナー！」という答え。いや～、子供の正直さにはかなわねえ、という笑いの渦に包まれながら、試食会もエンディングへ。

心配した雨もメンバーの食欲に圧倒されたようで、どうやら最後までもってくれたようです。あっという間にすぎた至福のひと時、来年の春もまた草原をひとかじりしようと決意も新たに、メンバーの顔には充実感が満ち溢れていました。大成功、大成功。



6月11日 ●野草を調べて 天ぷらにして食べて遊ぼう in 彩湖

松本 巧美くん (一般参加・小学校2年生)

「食べられる野草を天ぷらにして食べよう！」

タンポポを食べたんだ、葉っぱも花も！僕が摘んだ草も食べたよ。草が食べられるのに、ビックリしたけど、結構、おいしかったよ。屋上から遠くの景色が見えておもしろかった。

東川真弓 (センスオブアース・賛助会員)

「お得な野草ランチ」

6月11日「野草を食べて天ぷらにして食べて遊ぼう in 彩湖」に参加させていただきました。

小学生の頃は、つつじの蜜を吸ったり、藤棚に登って藤の蜜を吸ったり、シロツメグサで作ったりという遊びが日課でしたが…、社会人になった今、身の回りの野草に目をやる機会もなくなってしまい小学生の頃に毎日見ていた草花の名前もすっかり忘れてしまっていました。

彩湖で野草を調べるにつれ、幼少の頃の記憶が甦りどんどん楽しくなっていました。しかし、それらの野草が食べられるとは…。

ドキドキワクワク胸躍らせ、いざ口へ。それぞれの野草に味わいがあり、驚きの連続。ご飯さえあれば、しっかり食事になります。この日の私の昼食は「お得な野草ランチ」でした。野草を見る目が変わり、最近では幼少の頃のように足元の草花に目をやる機会が増え草花の名前が気になるようになりました。

6月25日 ●第2回 日本女子大学生田山観察会

高橋恵理子さん (日本女子大学3年生)

今回は2回目の観察会で、1回目のことを思い出しながら見ることでより楽しめました。

緑の種類の豊富さや、清楚な山アジサイが咲く6月の生田山は、春とはまた違って沢山の発見や学びができました。今回は地図を見ながら場所もある程度把握しながら見られたことが本当に良かったと思います。しかし、まだまだ見られなかったところも沢山あるので、そこも今度は地図を見ながら歩きたいです。それで、自然マップを完成させたいです。そうすることで、継続的な観察も可能になれば素敵だと思いました。

文化祭に向けて、今まで知ったこの自然の美しさを、沢山のの人に知らせていけるような発表にしていきたいと思います。



上運天光さん (日本女子大学3年生)

第一回目の五月の自然観察会とは打って変わり、六月の生田山は雨季の季節にはびっぴりな草花に囲まれていた。私が特に(今回の観察会で)興味を惹いた花を、ここで紹介することにしよう。それはこの時期にふさわしいとも言える代表的な花。アジサイのこと。アジサイには色々な種類があり、私はヤマアジサイやタマアジサイの区別がつくようになった。また、歩道の近くでよく見かけるアジサイは外来種であることを知って驚いた。など、さまざまな発見や驚きがあり、楽しい現地探索となった。

野呂咲木さん (日本女子大学1年生)

自然観察会に参加して、以前に図鑑などで読んだ樹木の実物をみたことがとても印象に残りました。本の中には樹木の生えている環境や気候、そこに生息する虫や動物、そしてそれらと共存することにより植物が育っていくという当たり前のことが殆ど書かれていません。どのような動物や虫達はその樹木を育む手伝いをしているのかも読みとれないのです。実際、山に入って見た樹木の様子は写真のものとは違っていました。直接その場に赴いて見なければ読み取れない自然の壮大さをたくさんの方がぜひ自分の目で確かめてくれると良いと思いました。



7月のナチュラル活動のご案内

7月28日(木) 12時～17時

夏休み特別企画<君もトムソーヤの気分を味わえるか!?!>

巡視船『あらかわ』で夏の荒川を探検しよう!

ふだん見慣れた「荒川」も、船の上から視点をかえて眺めると、全くちがう姿を見せてくれます。

巡視船『あらかわ』に乗船して、いざ、夏の荒川探検へ!

荒川を下り東京湾、隅田川を周り再び荒川に戻る約4時間の冒険。目に映るすべてが、印象深い夏の思い出になることを約束します。

日時: 2005年7月28日(木) 12時15分までに集合～17時解散

集合・解散: 荒川知水資料館 (amoa) 1階 待合いロビー (北区志茂 5-41-1 tel 3902-2270)

JR 赤羽駅 徒歩20分 東京メトロ 南北線 赤羽岩淵 徒歩15分

費用: 500円 (保険代・資料代・乗船代は無料)

参加資格: 小学校3年生以上、親子歓迎。

申込締切: 7月20日。先着順35名まで。

申込方法: 下記申込み書ご記入の上 FAX または同内容をE-メールでお申込ください。

お申込後1週間以内にご参加可否のご連絡をします。

予定コース: 荒川知水資料館見学 (12:20～12:50)

～岩淵出発 (13:00) 荒川くだり～東京湾～隅田川～岩淵着 (13:30) 現地解散 (17:00)

持ち物: ノート、筆記用具、双眼鏡 (持っていれば)、合羽などの雨具、飲料、酔い止め薬 など

☆昼食は各自、済ませてから集合してください。また、当日の12時から12時15分まで、集合場所ロビーをお弁当などを食べる場所として開放しますのでご利用ください。

☆巡視船はお菓子などの食べ物、アルコールの持ち込みは禁止です。(お茶などの飲料は可)

☆船内は禁煙です。

☆当日の天候 (強風による)、ならびに巡視船業務の都合により日程が変更になる場合があります。

お申込み締切後に変更が生じた際は、センスオブアースから、参加者各自に電話などでご連絡します。

ナチュラル活動参加 申込み書

参加されるイベントの () 欄に○印を、参加される人数も必ずご記入ください。

メールの場合は下記と同一の内容をメール本文にご記入の上お送りください。

() 巡視船『あらかわ』で夏の荒川を探検しよう! <申込締切7月20日>

ご参加人数 大人高校生以上 () 人 子ども小学校3年生以上 ()

(ふりがな)

● お名前

● ご住所

● 電話番号

● メールアドレス

● (携帯可)

☆諸事情により、中止が決定した場合は、当日の10時半までにお知らせいたします。

☆お知らせいただいた個人情報は、NPO法人センスオブアースが、個人情報に関する諸法令を遵守し管理いたします。

お申込FAX E-MAIL NPO センスオブアース宛

FAXで…03-3960-6053 e-mailで…info@npo-soe.jp